

上越南支所 だより



2014

第5号

平成26年3月1日発行

共に生き 共につくる 福祉社会を目指して!



合い言葉は「孤独死ゼロ!!!」
(支え合いマップづくり事業)



「ふくし」とは...?
(福祉協力校育成支援事業)



真剣です。私のまちを元気にしたいから
(サロンボランティア研修会)



弾ける笑顔で健康に
(小地域ネットワーク事業交流会)



みんなで食べるとおいしさ100倍
(ふれあいいきいきサロン事業)

誰もが安心して暮らせる地域づくりが 様々な形で芽吹いています。



支え合いマップ作成しました



地域を見守っている「お世話焼きさん」発見!!

今、みんなが求めていることが見えた!

あたにかい福祉のまちづくり

支え合いマップづくり事業

支え合いマップを作って
ご近所パワーを満開に!!



ご近所で
助け合える

地域づくりを

思いついた!
これがあれば安心ね。



子安新田
小地域ネットワーク



もしもの時の 「安心カード」

「もしも、家に一人でいるときに倒れたら…」、「もしも、外出中に倒れたら…」そんな時、見守りをしてきている近所のお世話焼きさんや助けてくれた人、救急車の人に緊急連絡先やかかりつけ医院等が一目でわかるようにと、小地域ネットワークの交流会の時間を利用してみんなで作りしました。
町内の高齢者等を対象に配付しています。

体を動かして
楽しくお茶会しています!



東本町4丁目サロン
「有志民謡の会」

支え合いマップを作ってみたら、誰もが気軽に集える場がないことに気が付きました。そこで、顔の見える地域のつながりを創っていくため「ふれあいきいきサロン」を始めました。

災害が起きたら・・・ 地域全体の心配ごとでも浮き彫りに・・・



支え合いマップを作ったことで、災害が起きた時の避難や避難所について関心が高まりました。そこで地域住民と避難場所の担当者・行政・社協による災害時のそれぞれの役割等について話し合いの場を持ち、今後の取り組みへの第一歩となりました。

支え合いマップを作ったことで、災害が起きた時の避難や避難所について関心が高まりました。そこで地域住民と避難場所の担当者・行政・社協による災害時のそれぞれの役割等について話し合いの場を持ち、今後の取り組みへの第一歩となりました。

1	自分や家族のことは隠しておきたい
2	自分のことがご近所で噂されるのは嫌だ
3	人に助けを求めるのは苦手だ
4	人に迷惑をかけることだけは絶対にしたくない
5	人のことはなるべく詮索しないようにしている
6	誰かが認知症だと気づいても、誰にも言わないようにしている
7	困っている人にはお節介と言われぬ程度に関わる
8	引きこもるものにも事情があるから、無理にこじ開けるべきでない
9	お互いのプライバシーは十分に尊重し合うべきだと思う
10	隣人とはあまり深入りせず、ほどほどのお付き合いを心がけている

【日本人のお付き合いを助け合い型に変えよう】住民福祉総合研究所木原孝久著より抜粋

いつまでも住み慣れた地域で心豊かに暮らすために、「助け合い型おつき合い文化」を作り上げることが目的としています。皆さんはご近所の方とお付き合いはありますか？昔から同じところにお住いの方は、ご近所との付き合いも結構あると思います。皆さんのお付き合いの流儀はどうでしょうか。試しに左の確認テストをしてみてください。「私もそう思う」というものに○印を、「そうは思わない」に×印を付けます。

「支え合いマップ」は地域を診るための必須「道具」です。住民福祉総合研究所の木原孝久氏が、20数年前から提唱しています。

いかがでしたか。○印が多かった方、×印が多かった方、それぞれの結果になったことと思います。「10項目がすべて×印である」、「×印の方が多い」という方が町内に何人かいると、支え合い・助け合える地域、いつまでも安心して暮らせる地域に推進していくことができます。
また、災害時に最も力を発揮するのも日頃からのご近所とのお付き合い（共助）です。
「支え合いマップ」を作成し、今から助けを求めやすいご近所を創り上げていきませんか？
上越南支所には「支え合いマップづくりインストラクター」が在籍しています。支え合いマップづくりについての詳細は上越市社会福祉協議会上越南支所 526-1515
支え合いマップづくり
インストラクター 佐藤（美）、小山までご連絡
ください。



“いつまでも住み慣れた地域で 心豊かな健やかで生きがいのある生活” の実現を目指して!



お知らせ



募集!!

地域の茶の間体験会を 「私らまち」でしませんか!?

新潟県地域支え合い体制づくり事業を受任し、地域住民の交流拠点となる地域の茶の間活動の立ち上げを支援することにしました。地域の支え合い体制を整備し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを推進します。

お住いの町内で、誰もが気軽に集える地域の茶の間を開催してみませんか?

地域の茶の間で体操したり、歌を歌ったり、ゲームで大笑いしたりして、健康寿命をぐんぐん伸ばしましょう。「私」のまちでもお茶飲み会をしてみたい。「費用は?」など、様々な疑問を解消すべく皆様の地域に伺い、地域の茶の間を上越南支所が一度開催させていただきま。そのあとは地域の皆様と一緒に、地域の茶の間活動が定着するよう支援します。

第一号として、寺町二丁目で開催が決定しています。

ご興味をお持ちの方は上越南支所 ☎526-1515までご連絡ください。



「笑いヨガ」で
免疫力アップ。



体を伸ばして
「ん〜気持ちいい!」



カラオケマシンで採点。
1位は誰だ?



ハンドベル演奏にも挑戦

新潟県立看護大学へ

行ってききました!!

新潟県立看護大学では「災害時看護・支援ワーキンググループ」が組織され、防災・減災、および災害時支援に関する教職員と学生の教育・研修、それらに関する物品やマニュアルを準備するといった活動をされています。今回はその中から災害用ダンボールトイレ（簡易トイレ）の作成方法を教えていただきました。

災害直後は水洗トイレが使えないことで、穴を掘ったり水分を控えたりで、衛生面や健康面に問題が発生する可能性があります。ダンボールトイレは、仮設トイレができるまでの困り事を少しでも解消できる知恵と工夫がされています。

身近な材料で、誰でも簡単に作ることが出来ます。地域の防災倉庫及び自宅の災害用備品の中にダンボール2個分、ガムテープ、ハサミ、ビニール袋等を常備しておくといいですね。



完成!!
備えあれば憂いなしだね



地震などの災害時利用状況の想定

- 近くの避難所に仮設トイレが設置されるまで利用します。
- 仮設トイレが混雑しているときに利用します。
- 仮設トイレがある避難所まで行くことが困難であるときに利用します。

つぶやき

「今年の冬は太平洋側で雪が降り積もって大変だ」とニュースを耳にしましたが、こちらは例年より雪が少ないようで大変ありがたく感じている私です。

厳しい冬もあと少し、雪の下で力を蓄えケガなく、病気なく、楽しい春を迎えましょう。3月は卒業の季節。新たな旅たちへ向かっていく人たちを祝福するように桜も咲くのを待ち望んでいることでしょう。早くこいこい春よこい。

みよ子

上越南支所では皆様のご意見をお待ちしております。



社会福祉法人

上越市社会福祉協議会 上越南支所

〒943-0892 上越市寺町2丁目20番1号
上越市福祉交流プラザ内2F

電話 526-1515 FAX 526-1230
E-mail jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp

ホームページ URL <http://www.jouetushisyakyo.jp>

いつでもお気軽に
ご連絡ください。

